

本願寺山陰会館が完成!!

「教化の殿堂として新しくスタート」



教区の皆様の待望久しい本願寺山陰会館が昨年十月に完成致しまして、すでに半年あまりになります。今を去る昭和八年、教区教学財団所有地に教務所を設け、そして昭和二十五年寄贈された「灯映閣」を所有し、以来今日に致っております。その間、永年にわたる風雪自然にさらされ、また建物の老朽化が進み教務所の新築の話が関係者一同の懸案となっております。そして、先年松江市都市計画事業に当地が該当し、

これを機会に換地を購入し、本願寺山陰会館を新築、完成にいたしました。新しい会館は建て坪一五〇坪、鉄筋コンクリート二階建て、一階は事務室、所長室、会議室、二階は六十畳敷の本堂、会議室、そして別棟に所長住宅を有しております。又、山陰会館完成を機に従来の山陰教区教学助成財団所有を、宗教法人に改組し、教区初の本願寺直属寺院となりました。



新しい会館の完成を祝って、昨年十月二十五日、二十六日に落慶法要と記念大会が挙行されました。落慶法要は、新しい本堂で二日間にわたり厳修されました。法要に先き立ち、旧教務所から会館まで、庭儀の行列が進み、本堂では献華、献灯、献香の式がハモンドオルガンの奏でる仏教讃歌にあわせてつとめられました。続いて広島雅楽会の雅楽にのって、大谷光照御門主の入堂、厳かに法要が行われました。そして法要の後、御門主は御親教に立たれ、本願寺山陰会館を中心としての教化活動と、門末の一層の努力による、お念仏相続が願われました。御親教のあと、二十五日は武邑尚邦勸学、二十六日は随行長として出向された朝

枝実彬総務の講話がありました。また、二十五日は午後六時より、市内ホテルにて落慶祝賀レセプションが御門主も出席され、出席者一同喜びの内に楽しいひとときを過ぎました。さらに、二十六日には、島根県民会館に於いて午後一時より「本願寺山陰会館落慶記念大会」が催され、門信徒の皆様一、六〇〇名が参加のもと、盛大に挙行されました。御門主の臨席を仰ぎ記念式典が執行され、会場には多数の来賓の方々の御参集をいただき、御祝詞のあと、祝電披露が行なわれました。続いて武邑尚邦先生の「混迷の時代、その生きざまと死にざま」と題する記念講演が行なわれ、万歳三唱のうちに記念大会を終りました。そしてアトラクションに移り、青江三奈、菅原洋一のジョイントコンサートが行なわれ祝賀ムードを一層盛りあげました。こうして今後の教化活動の殿堂としてスタートした山陰会館は布教使研修会、教区布教団発会式、仏青連盟研修会、仏婦総会と研修会、壮年連盟結成式等、目白押しに利用されております。尚、昭和五十二年度も皆様方の種々の研修会や会合並びにご参拝などにご利用下さるようお願い致します。特に結婚式にご利用いただくようPRをお願いします。